

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	会議録作成運用事業		コード	担当課係	議会事務局・議事係
			06-01-09-02	担当者	山本光男
事業実施期間			電話	0869-64-1803	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行政財政運営			
	小項目	その他の事務管理			
	施策	議会			

事業について	
目的	正確性を確保しながら、できる限り迅速に会議録を作成し、関係者に配布するとともに、市民への公表を行うことを目的とする。
対象 (誰のために)	市議会議員・市職員・市民
内容	定例会、臨時会及び各常任委員会、特別委員会等の会議録を作成し、関係者に配布するとともに、インターネットにより市民などが手軽に閲覧できるようにする。(配付及び閲覧は本会議の会議録のみ)

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
会議録ページ数	1,214 頁		
委員会録ページ数	1,128 頁		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,272	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	9,705	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	15,977	一般財源等	15,977	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1,23 人		
結果指標①	結果指標名	会議録ページ数	
	結果指標量	1,214	
	単位	頁	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	9,895,000 円	円
	単位当たりコスト①	8,151 円	円
結果指標②	結果指標名	委員会録ページ数	
	結果指標量	1,128	
	単位	頁	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	6,082,000 円	円
	単位当たりコスト②	5,392 円	円

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	会議録検索システムアクセス件数	式又は説明	会議録の活用と議会への関心度を測るものです。
	17年度		
成果指標量	3,317		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	5,000	到達目標年度	20年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：地方自治法・会議規則・委員会条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

課題認識
議会の公式記録となる会議録の作成は、市民に本会議・各常任委員会等の審議経過や結果を詳細に伝えるために必要なものである。

反訳作業の業者委託により、コスト削減を図っている。今後は、職員の作業効率の向上を検討していく必要がある。

会議録の作成に当たっては正確性を第一に考え、できる限り速やかな情報提供ができるよう努力する必要がある。

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	会議録は議会の公式記録を保持するために必要であり、議員や市民等への情報提供の手段として活用されている。今後は作業効率の向上に努め、少しでも早い時期に情報提供できるようにしたい。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 1,000	結果指標量② 1,100
目標値	結果指標量 3,800	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	会議録や録画映像をできる限り早い時期に情報提供する。	18年度	市民に特に関心のある情報をより早く提供することにより、議会への関心を高めてもらえる。